

岐阜県 2011 10・11 中小企業情報

vol.615

発行：2011年11月25日



「ぎふ産品フェアin金山総合駅」

目次

特集1 労働事情実態調査の概要	2~4
中央会の動き	5~6
組合等の動き	7~8
中央会レディースクラブ通信	8
会員組合紹介	9
10月の景況レポート	10~11
専門家's EYE	12
事務局だより	13

[発行所]

岐阜県中小企業団体中央会

岐阜市藪田南5丁目14番53号 ふれあい福寿会館(ふれあい会館)8階
TEL 058-277-1100(代) FAX 058-273-3930
URL <http://www.chuokai-gifu.or.jp>

I. 調査のあらまし

1. 調査目的

業種や事業規模、地域によって景況に依然として大きな違いがみられるなか、少子・高齢化の進展等に伴い、中小企業を取り巻く雇用・労働環境は大きく変化しており、このような情勢下、中小企業における労働事情を的確に把握し、適正な労働対策を樹立することを目的とする。

2. 調査方法及び調査対象

岐阜県中小企業団体中央会の会員組合の中で事業協同組合、商工組合等の組織を通じ、組合員企業へ調査票を配布し、調査を実施した（平成23年7月1日現在）。

3. 調査対象事業所数

調査事業所数:1,300事業所（製造業715事業所、非製造業585事業所）

4. 調査回答数

調査回答数は、1,300事業所の内、有効回答数は443事業所（製造業189事業所、非製造業254事業所）で回答率は34.1%であった。

事業別	事業所数	従業員数規模別	事業所数
製造業	189	1～9人	197
非製造業	254	10～29人	131
		30～99人	83
		100～300人	32
計	443	計	443

注1：調査対象事業所数の決定は、全国の従業者規模300人未満の事業所数5,700千事業所のうち、全国中央会が各県の事業所数に応じて調査数を決定しており、岐阜県内では、1,300事業所が調査対象先となっている。また、原則として、製造業55%、非製造業45%の割合で調査を実施することになっているため、製造業715社、非製造業585社を調査対象先として依頼し実施した。

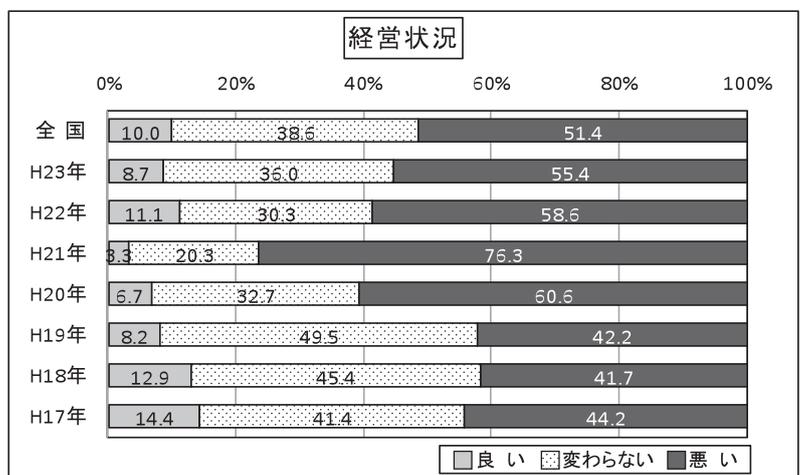
II. 調査結果の主なポイント

1. 経営状況について

(1) 経営状況

調査時点（H23.7.1）における経営状況についてD I値で見ると、昨年と比較して概ね横ばいといえる（H23年▲46.7ポイント、H22年▲47.5ポイント）。

また、全国と岐阜県のD I値を比較して見ると岐阜県は全国（▲41.4ポイント）よりも5.3ポイント悪い。

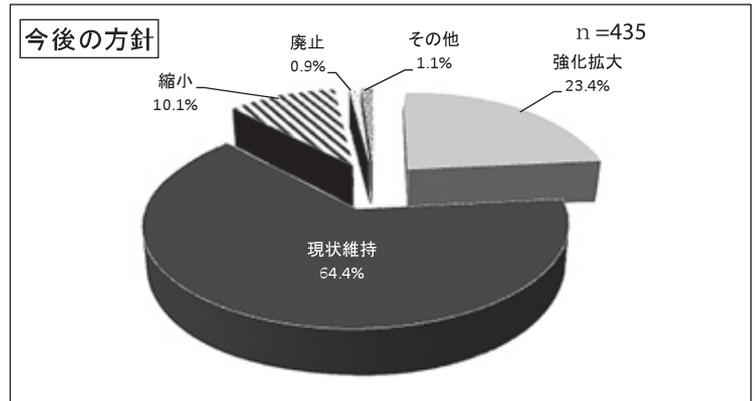


※D I値 = 「良い」と回答した企業の割合 - 「悪い」と回答した企業の割合
 文章及びグラフ中の「全国」とは全国中小企業団体中央会の集計結果を表しています。

(2) 主要事業の今後の方針

主要事業の今後の方針について見ると、「現状維持」が全産業で64.4%、製造業59.9%、非製造業67.7%で最も高い割合となっている。

非製造業では、「強化拡大」が昨年は16.4%(H22)だったが、今回は22.2%で前年比プラス5.8ポイントと増加した。

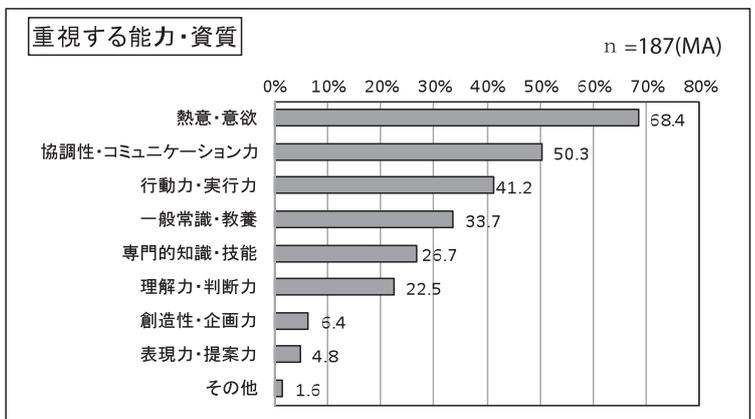
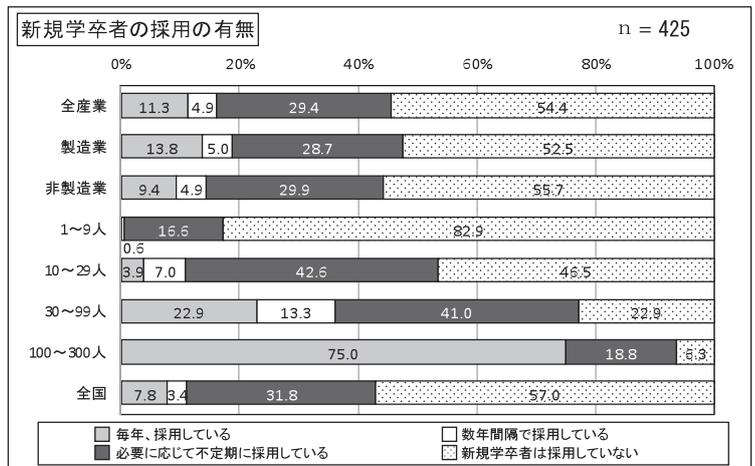


2. 新規学卒者の採用について

新規学卒者の採用の有無について見ると、全産業では「新規学卒者は採用していない」が54.4%で最も高い。

全国においても、岐阜県と同様に「新規学卒者は採用していない」が57.0%と最も高いが、岐阜県の方が2.6ポイント低い。

新規学卒者を採用する際に重視する能力・資質について見ると、「熱意・意欲」が68.4%で最も高く、次いで「協調性・コミュニケーション力」が50.3%、「行動力・実行力」が41.2%の順となっている。

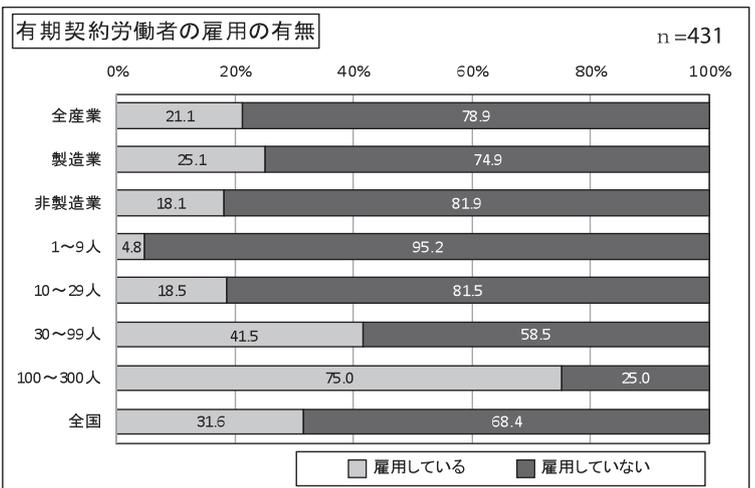


3. 有期契約労働者について

有期契約労働者の雇用の有無について見ると、「雇用していない」が78.9%となっている。

雇用している場合を、従業員数規模別で見ると、事業規模が大きくなる程、雇用している割合が大きくなっている。

有期契約労働者の中で一番多い雇用形態について見ると、全産業では、「嘱託社員(定年後の再雇用)」が46.2%で最も高く、次いで「パートタイマー」34.1%、「アルバイト」9.9%の順となっている。

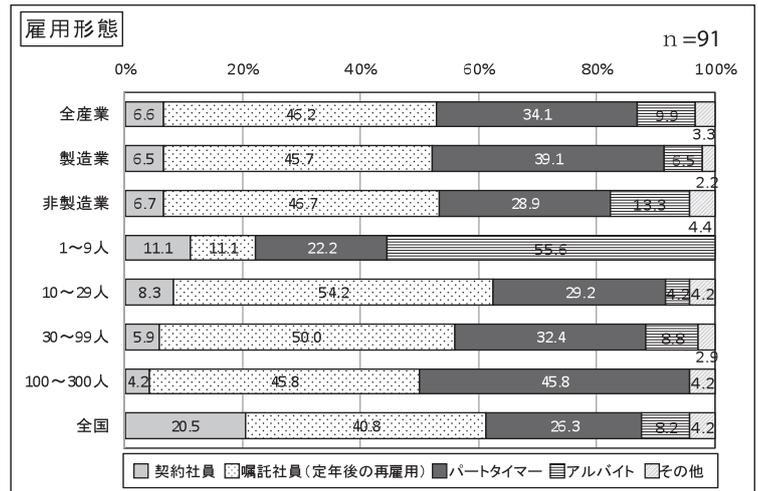


特集 労働事情実態調査の概要

過去3年間の有期契約労働者から正社員への転換状況について見ると、全産業では「転換したことはない」が24.4%だった。

有期契約労働者から正社員へ転換する際の基準について見ると、全産業では「労働者の勤務成績・勤務態度」、「労働者の能力」が68.8%で最も高く、次いで「労働者の希望」が56.3%となっている。有期契約労働者から正社員へ転換を行わなかった理由について見ると、

「正社員転換制度がない」が23.3%で最も高く、次いで、「正社員と同じ働き方が出来ないため」が18.3%、「人件費が増大する」が15.0%となっている。



4. 賃金の改定について

平成23年1月1日から平成23年7月1日までの間に賃金の引き上げを行った事業所の昇給率（昇給額）を見ると、全産業では1.08%（2,710円）で前年と比べ好転となった。

従業員数規模別に見ると、「1~9人」の事業所では、昇給率（昇給額）がマイナスとなっているが、それ以外の事業所では昇給率（昇給額）がプラスとなっている。

<昇給率及び昇給額>（加重平均）

n = 4,785

	事業所数	対象者数	改定前の賃金	改定後の賃金	昇給額	昇給率
全産業	153	4,785	250,131円	252,841円	2,710円	1.08
製造業	69	2,487	244,148円	247,302円	3,154円	1.29
非製造業	84	2,298	256,605円	258,836円	2,231円	0.87
1~9人	45	164	259,894円	255,617円	-4,277円	-1.65
10~29人	46	587	267,539円	270,319円	2,780円	1.04
30~99人	41	1,630	249,714円	252,912円	3,198円	1.28
100~300人	21	2,404	245,496円	248,336円	2,840円	1.16
全国	7,509	228,561	247,123円	249,907円	2,784円	1.13

		平均昇給		平均昇給（上昇）		平均昇給（下降）	
		昇給額	昇給率	昇給額	昇給率	昇給額	昇給率
岐阜県	H21	-70円	-0.03	3,431円	1.39	-15,714円	-5.36
	H22	2,573円	1.03	4,209円	1.72	-14,412円	-5.28
	H23	2,710円	1.08	3,708円	1.48	-43,384円	-15.43
全国	H21	248円	0.10	4,128円	1.66	-17,420円	-6.58
	H22	2,104円	0.86	4,094円	1.67	-15,263円	-5.84
	H23	2,784円	1.13	4,362円	1.76	-15,552円	-5.91

中央会の動き

■「一日中小企業庁」で中小企業庁長官に提言書を提出

岐阜県・中小企業庁・中部経済産業局が主催する「一日中小企業庁inぎふ」が、10月27日にじゅうろくプラザで開催された。

中央会など県内8つの経済団体は、鈴木正徳中小企業庁長官に対し、中小企業支援に関する16項目を要望し、社会長が代表して提言書を手渡した。

その後、鈴木長官など経済産業省幹部と意見交換を行い、鈴木長官は「東日本大震災の影響、現在の円高により経済情勢は厳しい状況にあるが、意見交換会で忌憚のないご意見をいただき、中小企業政策に反映していきたい」とあいさつした。続いて、社会長が提言の概要を説明した後、各団体から意見が述べられた。

最後に社会長は、「官民が一緒になって立ち上がらないと日本は良くならない。東日本大震災も乗り越えて、誇りある日本にならなければ」と述べた。



■『立ち上がろう！中小企業 絆を活かして』・中小企業団体全国大会

全国中小企業団体中央会と愛知県中小企業団体中央会は、11月17日に名古屋市の名古屋国際会議場で「第63回中小企業団体全国大会」を開催した。全国の中小企業団体の代表など約3,000人が参加し、本県からは会員組合など約300人が参加した。

大会では、11項目の決議案が可決決定されたほか、優良組合、組合功労者、中央会優秀専従者の表彰式も行われた。本県の被表彰者は次のとおり。

▽組合功労者＝大野秀穂氏（物流ネットワーク中部(協)・理事長）、松原光好氏（岐阜県鋳物工業(協)・理事長）
なお、決議事項は次のとおり。詳しくは、全国中央会ホームページをご覧ください。

(<http://www.chuokai.or.jp/event/event/-01.htm>)

- I 東日本大震災からの復旧・復興の加速化
 1. 津波・地震被害対策、被災中小企業・組合の復旧支援の拡充
 2. 東京電力福島第一原子力発電所事故の早期収束
- II 円高・空洞化対策と国内立地企業への支援の強化
 1. 円高対策・産業空洞化対策の迅速な実施
 2. 組合等連携組織対策の強化
 3. 公正な競争環境の整備、官公需対策の強化
 4. 万全な資金繰り対策の継続及び中小企業金融機能の拡充
 5. 国内産業を活性化させる中小企業関係税制の拡充
 6. 社会保障制度の見直し
 7. 中小企業の実態を踏まえた労働・教育対策の推進
 8. 商店街等及び中小小売商業の活性化支援の拡充
 9. 中小流通業・サービス業振興対策の強化

第64回全国大会は、平成24年10月25日（木）に宮崎県宮崎市の「フェニックス・シーガイア・リゾート」で開催されます。



■官公需に関する要望書を県に提出

中央会と県建設関連業団体部会は、10月28日に官公需に関する県土整備部長、都市建築部長、商工労働部長に要望書を提出した。

団体部会からは杉浦部会長、渡邊副部会長、高橋副部会長など、また本会からは大野専務理事が県庁で、地元専門業者の活用やコスト縮減に繋がる分離・分割発注の推進、労務費や資材価格等の実勢価格を反映した適正価格での発注、環境への配慮等の面から資源の有効活用と地産地消の推進、地域の連携交流を図る道路整備の促進を要望した。

■金山総合駅、恵那峡サービスエリアで「ぎふ産品フェア」を開催

中央会は、組合・組合員企業が保有する産品、また、地域資源を活用した産品を県外に広くPRすることを目的に、「ぎふ産品フェア」を2会場で開催した。

9月23、24日には名古屋市の金山総合駅で開催し、県内の地域資源である「関の刃物」「美濃焼」「岐阜・西濃のアパレル」などに関連する12組合等が商品のPR、販売を行った。当日は多くの駅利用者がブースに立ち寄り産品を買い求めていた。

11月5、6日には中央自動車道・恵那峡サービスエリア下り線（名古屋方面）で開催し、陶磁器、刃物、米菓やしょうゆ、タモギ茸など、県内の10組合が商品のPR、販売を行った。生憎の雨にも関わらずサービスエリアには多くの人々が立ち寄り、出展者による商品説明に興味深く聞いたり、商品を購入していた。また、立ち寄り客に対し、今回出展した商品の認知度やイメージ、に対し、今回出展した商品の認知度やイメージ、岐阜県のイメージ等に関するアンケート調査も実施した。

産品フェアの出展組合等は以下のとおり。

《金山総合駅》 多治見陶磁器卸商業（協）、（協）土岐美濃焼卸センター、美濃焼伝統工芸品（協）、岐阜婦人子供服（工組）、岐阜県刺繍（工組）、関連合刃物（協）、岐阜県花崗岩販売（協）、飛騨美濃鶏ちゃん（協）、岐阜県酒造（協連）岐阜県米菓工業（協）、（協）日本ライン花木センター、岐阜県中小企業青年中央会

《恵那峡SA》（協）王将チェーン、（協）雅陶会、美濃タイル商業（協）、土岐市陶磁器卸商業（協）、関連合刃物（協）、岐阜県しょうゆ（協業）、坂下商業開発（協）、岐阜タモギ茸事業（協）、駄知小売商業（協）、岐阜県米菓工業（協）



恵那峡サービスエリア

■組合産品等海外展開強化支援セミナーを開催

中央会は、組合や組合員企業が海外進出する際のポイントや制度説明を行うことを目的に、11月2日に「組合産品等海外展開強化支援セミナー」を開催し、19人が参加した。ジェトロ岐阜貿易情報センターの西本敬一所長が「海外展開するに当たっての心構え」、事例発表として間伐材製品開発（協）の小見山与志夫専務理事が「東濃ひのきを使った「車椅子でも使える医療用低温温浴器開発」」、商工組合中央金庫 国際部 貿易・投資支援センターの黒木真理氏が「商工中金の国際業務及びNEXIとの提携スキームについて」をテーマに講演を行った。

ジェトロ岐阜貿易情報センターの西本所長は、失敗しない海外展開の方法として、「中小企業は、個々での海外展開が難しいため、中小企業がまとまっている組合組織で海外展開を考えるのが良い。また、海外販売のポイントは、①徹底的な市場調査とそれに基づく市場開拓戦略の策定、②漫然と展示会に出展するのではなく、展示会の結果を開拓戦略に反映させること等が必要」と説明。講演の締めくくりとして「やるべきことをしっかり行えば、結果は自ずとついてくる。最後は“社長の熱意”が成功への分かれ道となる」とアドバイスした。

また、間伐材製品開発（協）の小見山専務理事は、平成21年度に取り組んだJAPANブランド育成支援事業において中国での展示会に出展した経験から「海外での展示会はやる気を持って参加することが重要。“とりあえず”や“なんとなく”という姿勢で出展するのは無駄であり、出展後にオーダー等があっても対応やフォローができない。また、現地任せでは現地の消費者の声がわからない」と説明したほか、事業の成果や中国での展開事例などを紹介した。

商工中金国際部の黒木氏は、海外展開に係る融資相談の状況として、「中国、タイへの進出に関する相談が多い。また、以前は工場進出の話が多かったが、最近は販売拠点の進出についての話が増えてきている」と説明した。



■「決算書から分かる経営分析セミナー」を開催

中央会は、11月7日に「決算書の見方・活かし方セミナー」をふれあい福寿会館で開催し、19人が参加した。「決算書を知れば経営が楽しくなる！」をテーマに、岡本実穂税理士事務所の岡本実穂税理士を講師に招き、決算書の正しい見方、将来の経営目標、経営計画の立案など経営に役立てる方法等について解説した。

参加者は、キャッシュフロー計算書&資金繰り表、損益分岐点計算シート等を使って計算する演習に取り組み、岡本税理士は「キャッシュフロー計算書と資金繰り表を作成することにより、毎月末キャッシュの残高を確認でき、不測の事態を乗り越えるための安心感となる。また、損益分岐点を借入返済や税金を考慮して計算することで、キャッシュを残すため今の売上目標は正しいのかが分かり、損益分岐点を下げる工夫をすることが重要」と説明した。

組合等の動き

創立60周年記念式典を開催 岐阜県印刷工業協同組合（岡田 忍理事長）

岐阜県印刷工業協同組合は、10月14日に「創立60周年記念式典」を岐阜グランドホテルで開催し、組合員や来賓など約80人が出席した。

組合では、創立60周年記念事業として、組合員企業や印刷関連企業の従業員を対象に、働く親の姿を子どもたちに見てもらい、絵や作文に書いてもらう「会社で働く私のお父さん・お母さん」作文&絵画コンクールを企画し、作品を募集。式典では応募作品から選ばれた受賞者の発表が行われ、受賞した絵や作文が式典後の懇親会会場で展示された。

岡田理事長は、式典の開会にあたり「コンクールには素晴らしい作文や絵がたくさん出され、子どもたちは印刷関連業に魅力と夢を持っている。厳しい環境だからといって私達が後ろを見てはいけぬ。この60年間の先輩方のご努力と次代を担う子どもたちのためにも、前を向いて歩き続け、新しい歴史を築いていかなければならない」とあいさつした。



第28回電気工事業全国大会を開催 岐阜県電気工事業工業組合（杉浦匡介理事長）

全日本電気工事業工業組合連合会（全日電工連）は、10月25日に「第28回電気工事業全国大会」を長良川国際会議場で開催し、県内をはじめ全国から組合員や来賓など約2,000人が参加した。

大会は「がんばろう日本・スペシャリストとしての挑戦！」をテーマに、中部電気工事業組合連合会が主管、岐阜県電気工事業工業組合が大会の企画・運営を担当し、岐阜県では初めて開催された。全日電工連の米沢寛会長は、「我々は電気を軸とする総合設備サービス業として“頑張る組合員”の拡大を目指していく。また、国民の電気保安の確保、施工品質の向上、社会に安心・安全を提供することが使命であり、今後も信頼に応えられるよう努力していきたい」とあいさつした。

大会式典の後、岐阜都ホテルで行われた交流会では、岐阜県電気工事業工業組合の杉浦匡介理事長が、「全国から多くの方が岐阜にお越しいただき感謝する」と歓迎のあいさつを述べた。



創立50周年記念式典を開催 岐阜県金属工業団地協同組合（今井哲夫理事長）

岐阜県金属工業団地協同組合は、11月11日に岐阜グランドホテルで「創立50周年記念式典」を開催し、組合員や来賓約150人が出席した。

開会にあたり、組合青年部が制作した映像で組合の50年の歩みを振り返った後、開会にあたり今井理事長は、「いろんな方々に支えられ、幾多の苦難を乗り越えて無事50周年を迎えることができた。50年前に団地に工場を立ち上げた先輩方は、戦後間もない混乱期に会社を創業し、高度化資金を借りて夢と希望と勇気を持って努力してこられ、日本に奇跡の復興をもたらした。先輩方の想い、勇気、努力をもう一度思い起こし、協同と調和、相互扶助の精神で更なる50年を前進していく」と決意を述べた。

また、組合功労者表彰13名、職員表彰3名、創業者に贈られる50周年特別表彰7名の表彰、県知事表彰として今井理事長と高橋前理事長が表彰されたほか、組合から岐阜県及び各務原市に対し寄付金が贈呈された。



第55回全国銘木展示大会を開催 岐阜県銘木協同組合（旗 政廣理事長）

岐阜県銘木協同組合は、11月14日にホテルグランヴェール岐山で「第55回全国銘木展示大会」を開催した。

この展示大会は、銘木の宣伝・普及を図り、銘木による文化の高揚に寄与し、銘木業界の振興発展の促進を目的に、全国の銘木市場の持ち回りで毎年開催しており、今回は、全国でも屈指の銘木市場である同組合が実行団体として開催。

開会にあたり、旗理事長は「人、環境に優しく、何十年にもわたり使い続けられる住宅づくり、また、日本の伝統である木材の文化を次世代に継承することは、我々に与えられた大切な使命である。今大会も全国各地から原木と製品の逸品を数多く集荷し展示しており、この大会が成功を収め、銘木業界の発展の一層の起爆剤になれば」とあいさつした。

式典では、85点の優秀作品入賞者の表彰も行われた。また、岐阜市茶屋新田の銘木市場で15日には製品、16日には原木の即売が行われた。





本会は、多種多様な業種・業態の組合等が会員となっており、これが本会の特徴でもあります。各組合がその特徴を活かし日々活動を続けていますので、皆様の仲間を紹介します。

丸重製紙企業組合

- 理事長:辻 守重 ■組合員数:8人 ■設立年月:昭和26年2月
- 住所:美濃市御手洗464番地 ■TEL:0575-37-2329
- FB(フェイスブック):www.facebook.com/marujyu.mino ■URL:<http://marujyu-mino.com/>

☆辻守重理事長、辻晃一専務理事に聞きました☆

当組合は、主に機械抄きによる美濃和紙の製造、販売を行う企業組合として設立されました。

組合では、「小ロット・多品種」「品質第一、技術で勝負」をモットーに、これまで100を超える種類の紙を抄いてきており、その豊富な経験とデータから顧客のニーズに合った紙の提案をしています。

本年8月には、県外のデザイン関係者と県内の紙業関係者を交流させ、美濃和紙の知名度向上や新製品開発につなげて新たな需要を掘り起こすことを目的に、「美濃・紙キャンプ」を開催しました。この取り組みは、組合が本年1月にフランスで開催された雑貨・インテリアの見本市「メゾン・エ・オブジェ」に出展した際に、組合の辻晃一専務理事が日本のデザインディレクターと知り合ったことがきっかけで企画し、実施されました。キャンプには、デザイナーや印刷業者など13人が参加し、2日間で提灯製作会社、手抄き和紙工房や当組合の機械抄きによる製造工程等を見学しました。辻専務理事は「デザイン関係者は和紙に対して関心が高いことがわかり、新たな商機が期待できそう。今後、年1回は開催していきたい」と、手応えを感じています。

さらに10月からは、辻専務理事と、弟の辻将之常務理事が、フェイスブックで「和紙ブラザーズ(和紙の事ならワシらに聞け!）」として、情報発信を開始。兄弟でのユニークな掛け合いも掲載しながら、和紙作りの魅力や製造工程、組合で製造される透かし和紙などの製品紹介のほか、町の話などについての情報を掲載しています。(www.facebook.com/washi.brothers)

辻守重理事長は、「組合として美濃和紙という伝統を守りつつ、今後は若い感性も活かして現状に甘んじることなく変化と進化を求めて努力していきたい」と、組合運営に欠かせない2人の発想力と行動力に期待を寄せ、抱負を話しています。



美濃・紙キャンプ

岐阜県製麺協同組合

- 理事長:堀部伸雄 ■組合員数:31人 ■設立年月:昭和38年10月
- 住所:岐阜市万力町1番地の6 ■TEL:058-262-4065 ■URL:<http://www.chuokai-gifu.or.jp/seimen/>

☆堀部理事長に聞きました☆

当組合は、県内で麺類の生産を行う事業者により設立され、麺に使用するアルコールなどの製麺類用原材料の共同購買事業のほか、事業を実施しています。

また、組合員31社のうち11社が所属している学校給食部会があり、この部会では岐阜県学校給食会との契約により、県内の学校に給食用麺類としてソフト麺のほか、平成11年からは岐阜県産の小麦粉100%使用のうどんを提供しています。

組合では、麺食のPRにも力を入れており、県内外で開催される各種イベントにも積極的に出展し、うどんやラーメン、お米の麺など、麺食の普及・PRに努めています。

本年10月2日には、全国のご当地うどんを集め、ご当地うどんの再発見・発掘、うどん文化の海外への発信を目的として“ご当地らしさ”を競う『第1回全国ご当地うどんサミット2011 in滋賀』が滋賀県東近江市の商店街で開催され、全国9府県から13品のエントリーがありました。岐阜県からは、組合が、小麦を一切使用しない米粉オンリーの「岐阜米粉ころうどん」で出展しました。

また、社会貢献事業にも取り組んでおり、全国製麺協同組合連合会の提唱により、平成11年から毎年11月11日と毎月11日は「めんの日」に制定されたことで、組合では平成15年から毎年11月11日に県内の高齢者施設や障害者施設等にうどん等を贈っており、本年も県内の75の特別養護老人ホームにうどん玉4,100食を贈りました。

堀部理事長は「施設への麺類の贈呈は、施設の方々が毎年楽しみにされている。贈る側の我々にとっても大変喜ばしいことであり、今後も続けていきたい。また、ご当地うどんサミットでは多くの方に食べていただき、好評を得た。次回もエントリーして岐阜県の麺を積極的にPRしていきたい」と抱負を語っています。



全国ご当地うどんサミット

景況レポート

平成23年
10月末
調査
(前年同月比)

中小企業団体情報
連絡員70名（うち
68名分の集計）の
情報連絡票から

〔Ⅰ〕10月の特色

◆ 景況感DI値 10ポイント改善
～マイナス37～

〔Ⅱ〕10月の概況

当月の景気動向を前年同月比の景況感DI値で見ると、好転8、悪化45でDI値はマイナス37となり、前月のマイナス47に対し、10ポイントの改善となった。景況感DI値改善の方向は5ヵ月連続のことで、昨年7月（マイナス34）以来、1年3ヵ月ぶりに同DI値はマイナス30台となった。

景況感が好転した業種は鋳物、県金属工業団地、可児工業団地、生花販売、広告美術、軽運送で、業種の数としては前月と変わらずの6件、景況感が悪化した業種は31業種と前月から7件減少している。

主要な調査項目を見ていくと、売上高DI値はマイナス8で前月比19ポイントの改善、販売価格DI値はマイナス13で前月比1ポイントの改善、収益状況DI値はマイナス29で前月比19ポイントの改善、資金繰りDI値はマイナス21で前月比9ポイントの改善となり、これら調査項目全てで改善の結果となった。

コメントを見ると、製造業では、前月から引き続き、一部自動車関連より好調を伝えるものがある一方で、円高による輸出関連での売上や採算の悪化、原材料高による収益悪化といった報告も寄せられている。

また、タイの洪水被害の拡大について、現地の工場、生産設備等がダメージを受けたことで、「カーシート関連の受注に悪影響（ニット工業）」、「残業の取り止め、減産は必至の情勢（刃物等金属製品（内需）」、「レンズの入荷が遅れ、売上に影響（メガネ販売）」など、幅広い業種からマイナスの報告があったほか、工作機械関連では復旧需要を見通す報告もあった。

非製造業では、秋の観光シーズンに入り「宿泊者数 前年同月比増加（長良川畔旅館）」「観光客の入込数が徐々に回復（高山市商店街）」、「観光客が東北・関東地方から中部地方へシフトしている（高山旅館）」など、観光地や関連サービスでプラスの報告があった。

今後の見通しについては、円高を背景とした国内製造業の空洞化や部材の海外調達加速、そしてタイの大洪水被害に伴う生産への影響など、製造業を中心に先行きを懸念する声が多い。

＜主な調査項目での動向＞

売上高の動向は、前年同月比で増加22、減少30でDI値はマイナス8となり、前月のマイナス27に対し、19ポイントの改善となった。

業種別で見ると、製造業のDI値はマイナス5（前月比-3）、非製造業のDI値はマイナス13（前月比+38）となっており、非製造業の改善幅が拡大した。

売上が増加した業種は15業種あり、米菓、メンズアパレル、プラスチック、タイル、鋳物、県金属工業団地、可児工業団地、輸送用機器、機械・工具販売、青果販売、共同店舗（飛騨）、生花販売、広告美術、電気工事、貨物運送（県域）となっている。

売上が減少した業種は21業種あり、その中でも木材・木製品が多い。

販売価格の動向は、前年同月比で上昇10、低下23でDI値はマイナス13となり、前月のマイナス14に対し、1ポイントの改善となった。

販売価格が上昇した業種は7業種あり、プラスチック、タイル、石灰、可児工業団地、石油製品販売、生花販売、鉄構造物である。

販売価格が低下した業種は16業種あり、特に卸売業、小売業、建設業に多い。

収益状況の動向は、前年同月比で好転10、悪化39でDI値はマイナス29となり、前月のマイナス48に対し、19ポイントの改善となった。

収益状況が好転した業種は7業種あり、鋳物、県金属工業団地、可児工業団地、機械・工具販売、生花販売、鉄構造物、軽運送である。

収益状況が悪化した業種は27業種あり、特に窯業・土石、小売業、サービス業、建設業に多い。

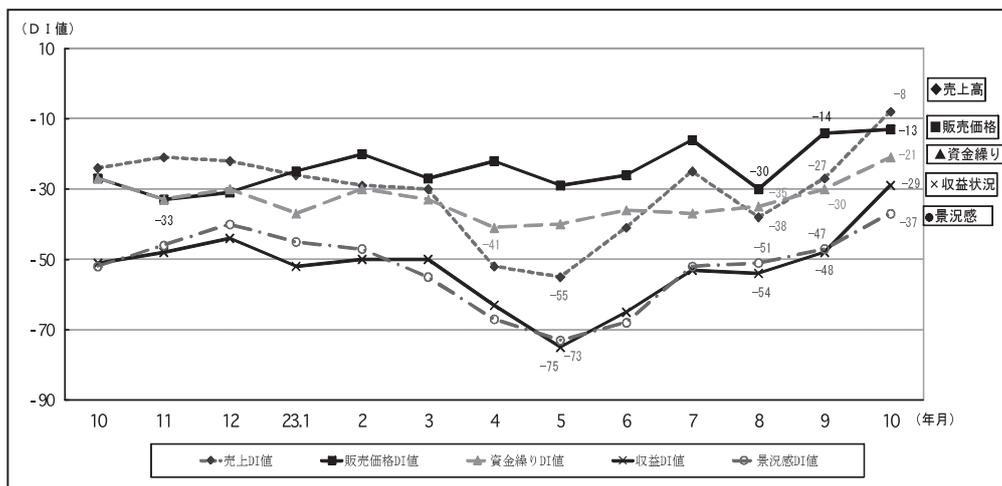
資金繰りの動向は、前年同月比で好転4、悪化25でDI値はマイナス21となり、前月のマイナス30に対し、9ポイントの改善となった。

資金繰りが好転した業種は3業種あり、製材・素材生産、可児工業団地、生花販売である。

資金繰りが悪化した業種は17業種あり、特に建設業、運輸業に多い。

資金繰りが悪化した業種は26業種となり、特に小売業、建設業、運輸業に多い。

売上高、販売価格、収益動向、資金繰り、景況動向 DI 値の推移（前年同月比）



県内中小企業主要業種の景気動向

(10月末調査)

製造業		前年同月比					
区分	調査項目 業種	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
	食肉(国産)	△	▲	△	△	△	△
	菓子	△	△	△	△	△	△
	米	○	△	△	△	○	△
	製麺	▲	△	△	△	△	▲
繊維・同製品	糸	△	△	△	△	△	△
	ニット工業物	▲	△	△	△	△	▲
	毛織物	△	△	△	△	▲	△
	合成繊維織物	△	△	△	△	△	△
	メンズアパレル	○	△	△	△	△	▲
	婦人・子供服縫製(既製服)	▲	△	△	△	△	▲
木材・木製品	製材	▲	△	△	△	△	△
	銘木	▲	▲	▲	△	△	△
	製材・素材生産	△	△	△	○	△	△
	東濃ひのき	△	△	△	△	▲	▲
紙紙加工品	機械すき和紙	△	△	△	△	△	△
	特殊紙	△	△	△	△	△	▲
	紙加工品	△	△	▲	▲	△	▲
印刷	印刷	▲	▲	▲	▲	△	▲
化学ゴム	プラスチック	○	○	△	△	△	△
窯業・土石	陶磁器(工業)	▲	△	▲	△	△	▲
	タイル	○	○	△	△	△	△
	窯業原料	△	△	△	▲	△	△
	石灰	▲	○	▲	△	△	▲
	生コンクリート	△	△	△	△	△	△
	砂利生産	△	△	▲	▲	▲	▲
	砕石生産	△	△	▲	△	△	▲
鉄鋼・金属	鋳物	○	△	○	△	○	○
	刃物等金属製品(輸出)	△	△	▲	△	△	▲
	刃物等金属製品(内需)	△	△	△	△	△	△
	メッキ	▲	△	△	△	△	▲
一般機械	県金属工業団地	○	△	○	△	△	○
	可児工業団地	○	○	○	○	△	○
	金型	▲	▲	▲	▲	▲	▲
輸送用機器	輸送用機器	○	△	△	△	○	△

非製造業		前年同月比						
区分	調査項目 業種	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感	
								卸売業
陶磁器産地卸	▲	△	▲	△	△	▲		
機械・工具販売	○	▲	○	△	○	▲		
小売業	青果販売	○	▲	▲	△	△	△	
	水産物商業	▲	△	▲	△	△	▲	
	家電機器販売	▲	▲	▲	▲	△	▲	
	メガネ販売	△	△	△	△	△	△	
	中古自動車販売	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
	石油製品販売	△	○	▲	△	△	▲	
商店街	共同店舗(飛騨)	○	▲	▲	▲	▲	▲	
	生花販売	○	○	○	○	△	○	
	岐阜市商店街	△	△	△	△	△	△	
	大垣市商店街	△	△	△	△	△	△	
	高山市商店街	△	△	▲	△	△	▲	
サービス業	自動車車体整備	△	△	△	△	△	▲	
	長良川畔旅館	△	△	△	△	△	△	
	下呂温泉旅館	—	—	—	—	—	—	
	高山旅館	▲	△	▲	▲	△	▲	
	クリーニング	—	—	—	—	—	—	
	広告美術	○	△	▲	△	△	○	
	飲食業	△	△	▲	△	△	△	
	ビルメンテナンス	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
	理容・美容業	▲	△	△	△	△	△	
	建設業	土木(岐阜地区)	▲	△	▲	▲	△	▲
土木(飛騨地区)		▲	▲	▲	▲	▲	▲	
建築設計		▲	▲	▲	▲	▲	▲	
鉄構造物		△	○	○	▲	▲	△	
電気工事		○	△	△	△	△	△	
管設備工事		△	▲	▲	▲	△	△	
建築板金		△	▲	▲	△	▲	△	
木製建具		△	△	△	△	△	△	
産直住宅(東白川地区)		△	▲	△	△	△	△	
運輸業		貨物運送(県域)	○	△	△	▲	△	▲
		軽運送	▲	△	○	▲	▲	○

凡例 ○: [増加]、[上昇]、[好転]
 △: [不変]
 ▲: [減少]、[下降]、[悪化]

※中小企業団体情報連絡員70名(うち68名分の集計)を対象にまとめたものです。



「立ち上がろう中小企業、 日本のために」

日本貿易振興機構（ジェトロ）岐阜貿易情報センター 所長 西本 敬一

本年2月、全国の産地代表が集まる、とある地場産業界の会合に講師として招かれた筆者は大変なショックを受けました。というのも、各産地代表による現状報告はどれも様に悲観的かつ諦めや愚痴も多く、この様な状態からは何も変わらず、また何も生まれないと感じたからです。思わず自身の講演冒頭、失礼を顧みず「悲観や諦め、愚痴や嘆き等からは何も生まれません。まずは否定を止め、常に肯定姿勢で臨むことを意識しましょう！」と書いておりましたが、皆さんからは賛同を頂いたと思っております。

この1年半程、県内地場産業の現場を飛び回ってきた筆者としては、何より各業界の皆様が自己否定的態度からいち早く脱却し、常に自己肯定的姿勢を保ちつつ前向きに未来を切り開いて頂きたいと切に願っており、ジェトロとしても全力で支援をさせて頂きたいと考えているところです。

厳しい言い方かもしれませんが、日本の現在置かれた状況を理解すれば、現状を嘆いている暇はないと思うのです。最も理解すべき点は、経済成長の方程式が大きく転換しつつあるという事実です。以前から指摘されていますが、キャッチアップ経済の終焉が現実化したとも言えます。欧米向け輸出+国内内需という成長方程式がここ数年、アジアを中心とした新興国需要の取込みという方程式に確実に転換しつつあり、最近の円高傾向はその動きに拍車をかけています。今後は、大企業のみならず中小企業の皆様もこの変化をしっかり理解・認識し、対応していけるかが大きな分かれ道になると筆者は考えております。

要はグローバル化への対応、平たく言えば世界で如何に売るかということですが、ポイントは3点あります。1点目は「作ったものを売る」のではなく「売れるものを作る」、2点目は勝利の3条件、3点目は前述2点を支える業界構造改革です。

1点目は文字通り、まず最初に何が売れるかを考えるということですが、国内でも意外に出来ないケースが多く、ましてや海外では更なる努力が必要です。2点目は小生作文ですが、①内外において他にない自社製品の価値があり、②その価値が買い手に理解され、③価値と価格のバランスが取れている の3条件を満たすことです。そして最後3点目は、前述2点を推進するための業界構造改革、より具体的には世代交代、横並び脱却、機会提供から成果獲得への転換等であり、これまで業界を牽引されてきたシニアの方々には是非とも将来を見据えた決断及び実行を期待するところです。

ジェトロ岐阜はここ1年間でアジアのバイヤー約20名を県内招聘し商談会を開催した他、セミナーやメルマガ、HP等を通じた最新情報の提供に努めてまいりました。また、中央会や商工中金、中小機構等関係機関とも積極的に連携し県内企業の海外展開支援に注力しておりますので、ご遠慮なくお声掛け頂ければ幸いです。

本稿タイトルに社長のフレーズを引用させて頂きましたが、上述の筆者の気持ちを見事に表現して頂いたと考えており、借用させていただいた次第です。



10月陶磁器バイヤー商談会風景

● 事務局だよ！ ●

秋の叙勲・褒章

2011年『秋の叙勲・褒章』について、11月2日に褒章、3日に叙勲の受章者がそれぞれ発表されました。中央会関係者の方は右のとおりです。



叙勲

- 【旭日双光章】 伊東 祐氏＝益田信用組合・理事長
 横瀬進一氏＝岐阜県板金工業組合・理事長
 廣瀬英雄氏＝岐阜県弁護士協同組合・前理事

褒章

- 【藍綬褒章】 北村正敏氏＝岐阜県関刃物産業連合会・会長
 岐阜県関刃物協同組合・理事長

岐阜大学基金へのご協力とお願いについて

岐阜大学では、更なる飛躍発展を遂げ、地域社会からの信頼と期待に応え、地域社会に貢献できる大学としての責任を果たすためには、流動的・機動的資金の運用が可能な基金が必要であることから、創立60周年記念を契機に「岐阜大学基金」を創設されました。

この基金は、学生に対する奨学金や国際交流事業、特色ある研究活動への支援、地域社会への貢献事業、キャンパス整備など継続的な教育研究活動に活用されます。

そこで、卒業生をはじめ、これまで様々なご支援・ご協力を賜ってまいりました地元企業の方々、さらには岐阜大学とご縁のある地域の皆様方には、本趣旨をご理解の上、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

詳しくは、大学ホームページ(<http://www.gifu-u.ac.jp/>)をご覧ください。

中央会日誌

《10月1日～31日》

- 3日 第2回岐阜県航空機・同附属品製造業最低賃金専門部会（岐阜合同庁舎）
- 11日 中小企業団体トップセミナー（磐梯熱海温泉ホテル華の湯）
- 14日 平成23年度シニア就業支援プログラム事業 第2回運営協議会（ワークプラザ岐阜）
地域経済情報交換会（県庁）
県印刷工業（協）・創立60周年記念式典（岐阜グランドホテル）
- 17日 第3回岐阜県航空機・同附属品製造業最低賃金専門部会（岐阜合同庁舎）
- 19日 岐阜地方最低賃金審議会（岐阜合同庁舎）
- 20日 第5回岐阜新卒者就職応援本部会議（岐阜地方合同庁舎）
- 24日 平成23年度労働者派遣事業適正運営協力員会議（岐阜労働局）
平成23年度第3回地域活性化ファンド審査委員会（ふれあい福寿会館）
平成23年度（財）県産業経済振興センター 第6回理事会（臨時理事会）（ふれあい福寿会館）
- 25日 第28回電気工事業全国大会（長良川国際会議場）
- 27日 一日中小企業庁 in ぎふ（じゅうろくプラザ）
都道府県中央会事務局代表者会議（ANAインターコンチネンタルホテル東京）
全国中央会 創立55周年記念式典（ANAインターコンチネンタルホテル東京）
全国中央会 全国大会特別委員会（ANAインターコンチネンタルホテル東京）

《11月1日～20日》

- 7日 岐阜・鹿児島姉妹県盟約40周年記念式典・両県民の交流の集い（岐阜グランドホテル）
- 8日 岐阜地方最低賃金審議会（岐阜合同庁舎）
第32回岐阜県職業能力開発促進大会（大垣市情報工房）
- 11日 商工中金役員との懇談会（ホテルパーク）
県金属工業団地（協） 創立50周年記念式典（岐阜グランドホテル）
- 14日 第55回全国銘木展示大会（グランヴェール岐山）
- 16日 経済団体等情報交換会議（グランヴェール岐山）
第63回中小企業団体全国大会前夜祭（キャッスルプラザ）
- 17日 第63回中小企業団体全国大会（名古屋国際会議場）



専門家と一緒に課題解決に取り組みます！

～「組合等ブラッシュアップ支援事業」のご案内～

当事業では、組合及び組合員が抱える課題や新事業構築等について、専門家と本会職員が一緒になり課題解決を図り、円滑な事業活動を支援します。ぜひご活用ください。

◆支援の主な内容は、以下のとおりです。

ものづくり、新分野進出、新事業創出や
市場・販路開拓などへの対処

ホームページ活用、販売・在庫管理の
システム化などへの対処

環境問題への対処
(新エネルギー、再資源化、公害対策など)

無料

※派遣する専門家の謝金・旅費は、
本会が支出します

農商工連携、地域活性化、地域製品の
マーケティング、地域ブランド創出や
地域団体商標登録などへの対処

労働問題への対処
(人材確保・育成、高齢者雇用など)

組合活性化・ビジョン策定への対処

◆活用事例1

【現状・課題】 組合では、組合員の取り扱う商品の共同販売等を実施しているが、近年、売上が伸び悩んでいた。そのため、経費節減を図るなど努力を続けてきたが厳しい状況には変りはないため、専門家のアドバイスを受けて売上改善を図りたい。

【支援内容】 専門家による売り場の検証（商品の構成・陳列、導線の検証）などを実施し、その後、売上改善に向けた提案を行った。

◆活用事例2

【現状・課題】 組合では、モデルハウス展示場を有し、その展示場にてイベントを実施するなど積極的な販促活動を行っている。専門家より、イベントの内容やチラシの作成方法などについてアドバイスを受け、今後更に集客力をアップさせたい。

【支援内容】 専門家より、集客力を向上させるためのイベントの提案やチラシの作成方法のノウハウの他、販促活動の長期的な展望について提案を行った。

詳細を知りたい、又は、活用を希望
したい場合は、お気軽にご連絡下さい。

◆問合せ先◆

岐阜県中小企業団体中央会

組織支援チーム (TEL 058-277-1101) E-mail info@chuokai-gifu.or.jp